

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-64	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション III	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	CIII 709	PANORAMA English Communication 3		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、豊かな人間性と創造性、自律性を備えた人間として、我が国社会の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮した。

◎国際社会の一員として幅広い知識と教養を身に付けるために、生徒にとって身近な話題から社会的・国際的な視点につながるような話題まで、幅広い題材を教材とした。

◎英語という言語を使って考えたり自分の意見を人に伝えたりするための言語活動をバランスよく取り入れた。

◎自律的な学習者として生涯にわたり外国語学習を続けるために必要なヒントをコラム等で示した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Laughter	笑いが人間の心身、そして人間関係に影響を及ぼす研究成果について読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 14-25
Lesson 2 A Black and White Beauty	世界に広く親しまれている動物であるパンダの知られざる生態や、近年の環境破壊に伴うパンダの保護活動について読み、考えることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp. 26-37
Lesson 3 Water	世界の水問題とそれを解決するための方法について読み、考えることで、生命を尊び自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号、第5号)	pp. 38-49
Lesson 4 Coffee Travels the World	身近な飲み物であるコーヒーの歴史や栽培法、生産国にまつわる問題等について読み、考えることで、生命を尊び自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと、また他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号、第5号)	pp. 50-61
Lesson 5 From Homeless to Harvard	過酷な子ども時代を送った女子高校生が自分の意思で人生を切り拓く話を読み、考えることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと、また正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第2号、第3号)	pp. 62-73
Lesson 6 Smartphones	スマートフォンへの依存が心身に及ぼす影響とその弊害を防ぐ方法について読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと、また公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第1号、第3号)	pp. 76-87

Lesson 7 Personal Space	人間同士の適切な距離感やその文化的差異などについて読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付けること、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと、また伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第1号、第3号、第5号)	pp. 88-99
Lesson 8 What is Money?	お金の概念と形態の歴史や各国の文化について読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと、また伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第1号、第5号)	pp. 100-111
Lesson 9 Buyology	人間の購買活動に影響する様々なメカニズムやそれを活用した営業戦略等について読み、考えることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと、また公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第2号、第3号)	pp. 112-123
Lesson 10 Mars	火星探査の歴史や火星の環境について読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 124-135
Supplementary Reading 1 Feathers in the Wind	軽い噂話がどのような結果につながるのかを寓話的に描いた物語を読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うこと、また正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第1号、第3号)	pp. 136-137
Supplementary Reading 2 Bobbie the Wonder Dog	家から遠く離れた土地で飼い主とはぐれ、長旅を経て戻ってきた犬の実話を読み、考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 138-140
Supplementary Reading 3 The Mary Celeste	実際に起きた海難事故にまつわる数々の謎を描く物語を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 141-143

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎生徒の学習意欲を高めるため、学校生活や家庭生活に関連した身近なテーマの題材を多く取り入れる。
- ◎「英語コミュニケーションIII」に無理なく移行するため、「英語コミュニケーションI・II」での既習事項と関連づけながら、基礎・基本の定着を図る。
- ◎4技能5領域をバランスよく統合した活動を工夫する。
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、実際に英語を使用する場面を多く設定する。
- ◎写真やイラスト、図表等を適切に使い、学びやすさへ配慮する。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-64	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション III	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	CIII 709	PANORAMA English Communication 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・ 日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと・読んだことの要点をつかみ、話し手・書き手の意図を把握することができるように、要約などの内容確認問題を充実させ、またリテリングで情報を整理する活動や、聞き・読んだ内容、テーマについて自分はどうか考えるか・どう思うかを発表させる、書かせる、生徒同士で話し合わせるなどの活動を盛り込んだ。
- ・ 5つのアイコン（聞く、読む、話す、やり取りする、書くポーズを取るカモメのイラスト）を活動に添えることで、そのコーナーで何の技能を主に使うのかが一目でわかるように工夫し、5領域のバランスの取れた構成をこころがけた。
- ・ I・IIよりも社会的な題材を増やしたが、生徒が自分のこととして考え発信していけるような身近で話題性のある題材を多く取り上げた。

(2) これまでの学習内容を踏まえながらより自律的に学習できる教科書。

- ・ 各レッスンの本文総語数は英語コミュニケーションIIから無理なく移行して増えていくように心掛け、Lesson 1の700語程度からゆるやかに増えていくよう配慮した。また、新語の出現率が高くなりすぎないように配慮した。
- ・ 文法事項・文構造については、I・IIで学習した事項を踏まえて言語活動ができるようこころがけた。前半のUnit 1ではIIで学習した文法が出てきた時には再度おさらい・確認ができるように「グラマーリサイクル」マークを施した。また、それを話す活動で活用ができるように、巻末に「文法を使って話してみよう」というコーナーを設けた。
- ・ 自律性を高めるため、選択肢や会話のモデル、注など言語活動の支援は最小限にとどめたが、実際に言語活動をするのにハードルが高くなりすぎないよう必要な足がかりは与えるように工夫した。
- ・ 高校3年間の授業での英語にとどまることなく、卒業後も英語を使っていくことを意識させるコラムを冒頭に置いた。

(3) 指導しやすく、学習しやすい教科書。

- ・ 前半のUnit 1では1レッスンを3パートに分け、IIまでの見開き2ページ構成でのスタイルを保ちながら学習できるようにした。
- ・ Unit 2では見開き構成を取ってはいるが、一気に1レッスン分の本文を読むこともでき、また3つに区切って要所所で内容の確認をしたり話す活動を取り入れたりすることができる構成とした。
- ・ 写真やイラスト、図表を多く配置し、視覚的な要素も内容理解を補うために使えるよう工夫した。

■各レッスンの構成■

●Unit 1

1. レッソンの導入ページ（見開き2ページ）

【左ページ】 写真を見ながら、今から学習するテーマに関わるQuestionについて考える。

【右ページ】

- ・Goals & Activities：そのレッスンでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・Warm-up：レッスンに関連したテーマについての会話を聞く。左ページの写真について描写説明する。レッスンのテーマについてペアでやり取りし考えを伝え合う。

2. 本文ページ（1パート2ページ見開き）

【左～右ページ】

- ・本文：英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。IIの教科書で学んだ文法のおさらいをする文法事項には「グラマーリサイクル」マーク（)をつけることで、スパイラルに文法事項を学べるようにした。内容理解の確認として、3つの文章を聞いて本文の内容に合う1文を選ぶリスニング問題を用意した。なおQRコードから本文の音声を聞くことができる。
- ・傍注：新出単語と重要フレーズを掲載した。なおQRコードから新出単語の音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。
- ・脚注：新出の固有名詞と意味を取るのに注意が必要な語句を掲載するほか、英文を理解する上で注意したいリーディングストラテジーについてのQ、発音で留意したい点を示した。

【右ページ下】

- ・Key Ideas：本文のポイントを尋ねる3つの質問に答えることで内容理解を確認する。
- ・The Gist：本文の要約文を穴埋めで完成させることで内容理解を確認する。選択肢は2つの錯乱肢を含めることで負荷を上げた。
- ・Think and Talk：本文のテーマについてペアでやり取りし、考えを伝え合う。

3. 各レッスン末（4ページ）

【1ページ目】

- ・Comprehension Check A：True or Falseのリスニングで、本文の内容理解を確認する。
- ・Comprehension Check B：1. グラフィック・オーガナイザーで本文の内容を整理する。
2. 1. をもとに、写真などを見ながらリテリングをする。

【2ページ目】

- ・Share Your Thoughts：本文のテーマに関する質問に答える形で英文を書く。さらにパートナーとその考えをシェアし合う。
- ・Language in Action：言語材料を使うドリルで定着を図る。

①新出単語を使った練習問題

②重要語句を使った練習問題

【3-4ページ目】

- ・Next Step：そのレッスンのターゲットタスクとして、本文のテーマに関連した内容で、まずリスニングをし、さらに4技能5領域のいずれかにフォーカスを当てたタスクで言語活動を行う。

【4ページ目】

- ・Check Your Progress：Goals & Activitiesで目標としたことができるようになったか生徒が自分でチェックする。

●Unit 2

1. レッソンの導入ページ (見開き2ページ)

【左ページ】 写真を見ながら、今から学習するテーマに関わるQuestionについて考える。

【右ページ】

- ・Goals & Activities：そのレッスンでどのようなことを学び、どのようなことができるようになるのかを知る。
- ・Warm-up：レッスンに関連したテーマについての会話を聞く。左ページの写真についてペアでやり取りし考えを伝え合う。

2. 本文ページ (6ページ)

【左～右ページ】

- ・本文：英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーが書き下ろした。6ページにわたる英文を一気に読むこともできるし、3つに区切ってその都度内容理解のリスニングやテーマに関するやり取りの活動を行うこともできるようにした。なおQRコードから本文の音声を聞くことができる。
- ・脚注：新出単語、重要フレーズ、注、英文を理解する上で注意したいリーディングストラテジーについてのQ、発音で留意したい点を示した。なおQRコードから新出単語の音声を聞くことができ、フラッシュカードを使用することができる。

【右ページ下】

- ・内容理解の確認として、3つの文章を聞いて本文の内容に合う1文を選ぶリスニング問題を用意した。
- ・Key Ideas：本文のポイントを尋ねる3つの質問に答えることで内容理解を確認する。
- ・Think and Talk：本文のテーマについてペアでやり取りし、考えを伝え合う。

3. 各レッスン末 (4ページ)

【1ページ目】

- ・Comprehension Check A：True or Falseのリスニングで、本文の内容理解を確認する。
- ・Comprehension Check B：本文の内容理解を3択問題で確認する。
- ・Comprehension Check C：本文の内容理解を要約英文への空所補充で確認する。

【2ページ目】

- ・Language in Action：言語材料を使うドリルで定着を図る。

①新出単語を使った練習問題

②重要語句を使った練習問題

- ・Share Your Thoughts：本文のテーマに関する質問に答える形で英文を書く。書いた内容をもとに発表する。

【3-4ページ目】

- ・Next Step：そのレッスンのターゲットタスクとして、本文のテーマに関連した内容で、まずリスニングをし、さらに4技能5領域のいずれかにフォーカスを当てたタスクで言語活動を行う。

【4ページ目】

- ・Check Your Progress：Goals & Activitiesで目標としたことができるようになったか生徒が自分でチェックする。

4. Supplementary Reading：補充的読み物教材を用意した。

5. 見返し、コラム、付録類：

- ・教科書冒頭に、「Using English in Everyday Life」で、高校を卒業してからも英語を使っていくことを意識させるためのコラムを設けた。
- ・巻末に「学習した文法を使って話してみよう」を設け、Unit 1でリサイクルマークを施した文法事項を実際に使って「話すこと [やり取り]」を行えるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										該当箇所(ページ)	配当 時数	
	(1)	(2)	(3)										
			①					②					
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ			
Lesson 1 Laughter	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(7)		(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	14-25	8
Lesson 2 A Black and White Beauty	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(7)	(7)(イ)	(7)(イ)	(イ)		(7)(イ)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	26-37	8	
Lesson 3 Water	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(イ)		(7)		(7)	(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	38-49	8	
Lesson 4 Coffee Travels the World	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(7)(イ)		(7)		(7)	(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	50-61	8	
Lesson 5 From Homeless to Harvard	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(7)		(7)		(7)	(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	62-73	8	
Lesson 6 Smartphones	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ			(7)(イ)	(イ)		(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	76-87	8	
Lesson 7 Personal Space	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(7)		(7)	(イ)	(7)	(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	88-99	8	
Lesson 8 What is Money?	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(イ)		(7)(イ)	(イ)		(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	100-111	8	
Lesson 9 Buyology	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ	(7)		(7)		(イ)	(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	112-123	8	
Lesson 10 Mars	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、イ、 ウ、エ、 オ、カ		(イ)	(7)(イ)	(イ)		(7)	(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	124-135	8	
Supplementary Reading 1 Feathers in the Wind	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ	ア、ウ、 オ				(7)			(ウ)(エ)	136-137	2	
Supplementary Reading 2 Bobbie the Wonder Dog	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ、 ウ	ア、ウ、 エ			(7)				(ウ)(エ)	138-140	2	
Supplementary Reading 3 The <i>Mary Celeste</i>	ア、イ、 ウ、エ	ア、 イ	ア、ウ、 カ					(7)		(ウ)(エ)	141-143	2	
Using English in Everyday Life								(7)	(7)(イ) (ウ)		8-11	1	
Phrase List	ウ										144-145		
Word List	ウ										146-155		
ディスコースマーカ ーの例	ウ										156-157		
学習した文法を使っ て話してみよう	エ	ウ	ア			(7)				(7)(イ)(ウ)(エ)(オ)	158-160		

計87